

第3巻 民俗・文学

民俗

第1章 社会組織—契約講—

- 第1節 概観 第2節 契約講の歴史と組織 第3節 契約講の財産、加入と脱退
- 第4節 契約講の寄り合い 第5節 契約講の機能 第6節 契約講に保存されていた資料から
- 第7節 村落内の伝統的な講集団

第2章 住生活

第3章 人生儀礼

- 第1節 産育 第2節 婚姻 第3節 厄年・年重ね 第4節 葬送

第4章 民間信仰

- 第1節 小祠・小堂 第2節 供養碑 第3節 家の神 第4節 精進講 第5節 共同祈願
- 第6節 修験 第7節 巫俗

第5章 年中行事

第6章 芸能

第7章 口頭伝承

- 第1節 伝説 第2節 昔話

文学

多賀城と文学

第1章 みちのくの遠の朝廷

- 第1節 藤原の4卿たち 第2節 大伴家持と天平の産金

第2章 大伴家持と多賀城

- 第1節 「多賀城碑」の建立と「歌わぬ人」 第2節 大伴家持とみちのく
- 第3節 長岡京遷都と藤原種継暗殺事件 第4節 大伴家持の去就
- 第5節 桓武朝の政治体制と大伴家持の終焉

第3章 唐風文化摂取時代とみちのく

- 第1節 小野氏の系譜 第2節 藤原佐世の陸奥守時代 第3節 『菅家後集』と藤原滋実
- 第4節 源融と小野春風

第4章 歌枕意識の変貌とその定着過程

- 第1節 「歌枕」の意味とその成立 第2節 歌枕「末の松山」の伝承過程
- 第3節 歌枕「浮島」の運命

第5章 みちのくを訪れた文人たち

- 第1節 和歌の流れから 第2節 藤原実方とみちのく 第3節 源重之とみちのく
- 第4節 橘氏の人々

第6章 『おくのほそ道』と「壺碑」

- 第1節 歌枕「壺碑」の伝承過程 第2節 歌枕「壺の碑」の伝承（一）

第3節 歌枕「壺の碑」の伝承（二） 第4節 『おくのほそ道』の制作心理

多賀城碑

まえがき

第1章 多賀城碑の解説と諸問題

第1節 碑文内容の解説 第2節 碑文の諸問題 第3節 その他の諸問題 第4節 まとめ

第2章 つぼのいしぶみと多賀城碑

はじめに

第1節 古代中世の和歌におけるつぼのいしぶみ

第2節 和歌以外の文献におけるつぼのいしぶみ 第3節 多賀城碑の発見と壺の碑

第4節 南部の坪の碑 おわりに

多賀城市の方言

第1章 東北方言における多賀城方言の位置

第2章 多賀城方言の音韻と文法

第3章 多賀城方言の語彙の特色と方言語彙分布

第4章 多賀城方言の歴史的変遷

第5章 多賀城市内地区別方言語彙集